

県立多治見病院 緩和ケアチーム通信

発行：県立多治見病院緩和ケアチーム 2017年4月号 vol.73
 文責：伊藤 浩明 編集：櫻田 亜矢子



<今年度の目標>

平成29年度が始まりました。昨年度のチーム統計をまとめました（下表）。平成28年度の年間依頼件数は68件と、平成27年度（42件）よりは増加いたしました。また昨年度は、当院の病院機能評価と、副機能の緩和ケア病院の2機能とも無事認定されることができ、ある程度の客観的評価を受けることができたかと思えます。

今年度の目標ですが、当院の緩和ケアチームは専任スタッフはおらず、少ないスタッフが通常業務と兼任でおこなうチーム活動であり、活動時間の制約があるなかで、いかに有効な活動をするかを整理し直していこうと考えております。緩和ケアの医師が緩和ケア病棟の専任をしながら関わっているとか、曜日によってチームの担当看護師が交代するなど、複数のスタッフでいかに情報を共有しながら分担して活動するかが課題です。以下のような体制を整えながら、年間依頼件数を90件にすることを目標にしたいと思います。

① 緩和ケアスクリーニングシートの運用拡大

昨年度の緩和ケアスクリーニングシート 1065 件のうち、STAS-2 以上と評価されたのは 257 件で、うち支援不要とされたのが 218 件、チームが介入したのは 39 件でした。スクリーニングシートでチェックされて緩和ケアチームで関わることによって緩和ケア病棟へつないだ事例もあり、有効な評価手段の一つにはなっていると思われます。今年度もさらに有効な緩和ケアチームのアクセスルートになるよう運用してまいりたいと思えます。

② 緩和ケア外来受診患者に対するチームでのフォローアップ

緩和ケア病棟に入院するかを相談する「緩和ケア外来」を受診後、すぐには入院せず在宅療養をしながら外来でフォローアップする場合などに、緩和ケアチームの活動としてバックアップをしていくような体制を整えてまいりたいと思えます。

依頼件数		平均値	5.7	中央値	6							
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
8	3	11	8	4	3	6	5	5	7	6	2	68

	人数	割合
がん	65	96%
非がん	2	3%
小児	1	1%
計	68	100%

	人数	割合
診断から初期治療前	1	2%
がん治療中	23	35%
積極的がん治療終了後	42	64%
計	66	100%

	人数	割合
がん疼痛	34	33%
疼痛以外の身体症状	23	22%
精神症状	12	12%
家族ケア	8	8%
倫理的問題(鎮静など)	0	0%
地域との連携・退院支援	11	11%
その他	16	15%
計	104	100%

	人数	割合
介入終了(生存)	2	4%
退院(在宅ケア導入なし)	5	10%
退院(在宅ケア導入あり)	2	4%
死亡退院	19	37%
緩和ケア病棟入院	22	43%
その他の転院	1	2%
計	51	100%

	人数	割合
5. 非常に良かった	17	33%
4. まあまあ良かった	21	41%
3. ふつう	13	25%
2. あまり良くなかった	0	0%
1. 良くない	0	0%
計	51	100%

